

さんらいずにゆうす

学校だより

2026年 6月29日

6月号

日出学園小学校

校長 荻原 巖



新緑の大運動会



今年度の運動会は、本番を迎えるまで厳しい暑さが続く中での準備期間となりました。子ども達は日々の練習に一生懸命取り組み、休み時間にはダンスの練習に励む姿が見られたり、リレーのチームでバトンパスの練習をしたり、本番に向けて各学年努力を重ねてきました。

当日は天候に恵まれ、競技に全力で取り組む姿はもちろんのこと、友達を応援する声や係活動に取り組む高学年の姿など、子ども達の成長を感じる場面が数多く見られました。子ども達一人ひとりが練習の成果を存分に発揮することができたと思います。

連日の天気予報から今年度の運動会は暑さが厳しいことが予想されていました。学校で行った熱中症対策として、児童へ「塩分チャージタブレット」を配付しただけでなく、父の会の皆様が噴霧機を持ってテントを回ってくださり、涼を取る事ができました。また、子ども達の頑張りを見守り、サポートして頂いた保護者の皆様のおかげもあり、大きなけがや熱中症による体調不良もなく、無事に運動会を終えることができたことを大変嬉しく思っております。運動会で培った自信や達成感を、今後の学校生活の中でも生かしてほしいと願っています。

体育科 新井

応援団

各クラスから選出された36人の応援団は、朝やお昼の時間を使って練習を重ねていきました。一生懸命に応援するだけでなく、選手から「応援を聞いて頑張ろうと思った!」そんな言葉がもらえるように知恵を出し合いました。今までの運動会で行ってた応援に加えて、新しい応援歌を作ったり、リレーの時は選手の名前をコールしたり、ボードを掲げたりと新しいチャレンジがたくさんできました。

赤白に分かれて全校で応援練習を2回行いました。応援が盛り上がらない時、自分たちの伝え方や立ち位置に問題が無かったか団長を中心に話し合いました。応援団の活動を通して【自分に矢印を向けられるようにすること】ができたのが素晴らしかったです。

当日は、応援団の声掛けで応援席がわっと盛り上がる瞬間が何度もありました。人や環境のせいにならないでどうすれば運動会が盛り上がるか常に自分に矢印を向けていた応援団はとてまかっよかったです。

応援団担当 小山



鼓笛

毎年、多くの注目を集める日出学園小学校の伝統的な種目、5・6年生による鼓笛行進。今年度は『ライラック』を披露しました。この曲に決定したことを初めて子どもたちに伝えたとき、「おーっ!」と歓声が上がりととても喜んでいました。非常に難しい曲ですが、「かっこよく演奏したい」という思いを原動力に、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、太鼓の練習にどの子も一生懸命取り組んでいました。

隊形移動の練習を始めたばかりの頃は列が乱れ、どう動けば良いのかすら分からないような様子も見られました。しかし、6年生の指揮者隊の子達がそれぞれの列にアドバイスを送ったり、5年生が6年生の動きを見学したり、上空から撮影した映像をみんなで見て課題を共有したりすることで、徐々にではありますが列の乱れは着実に整ってきました。鼓笛行進を通じて、練習中は【仲間と気持ちをお合わせることの難しさ】を感じ、それが1つに揃った本番では、【みんなで1つのものを作り上げることの喜び】を感じることができました。

鼓笛担当 織間





各学年より



1年生

初めての運動会では徒競走、ダンス、2年生との玉入れと3種類の競技を行いました。

徒競走ではまっすぐ上手に走り、順位に関係なく、どの子もゴールを走り抜けることができました。

ダンスでは立ち位置を変える場面が多くあり、練習ではうまくいかないこともありましたが、本番ではきれいな円を作り、笑顔で踊ることができました。応援でも大きな声を出して楽しく運動会に参加することができました。



2年生

「☆☆☆☆（ファイブスター）」では、隊形移動に苦戦しました。合同体育で動画を見ながら移動の確認をして、何度も練習をしました。本番ではどのクラスも遅れることなく移動することができ、見事な風車とダイヤモンド、星をつくることができました。

障害物競走では、ビーバーになりきって3つの障害物を避けてゴールに向かいました。最後のお面を付ける場面では、かわいらしく泳いでゴールすることができました。



3年生

ダンスでは、毎日コモンスペースで練習を重ね、考えなくても体が動くまで練習したことで、表情にも自信が現れました。本番では音楽が止まるアクシデントがあったものの、全員が慌てることなく臨機応変に対応し、日ごろの練習の成果が生かされました。徒競走では、初めてコーナーがある徒競走に挑戦したほか、大玉転がしでは、兄弟学年である4年生との絆をいかに発揮して、僅差の白熱した戦いを見せてくれました。



4年生

今年、4年生は社交ダンスとHIPHOPに挑戦しました。社交ダンスでは指先やつま先を伸ばし続けながら細やかなステップを踏めるよう、HIPHOPでは重心をすばやく移動させリズムにのって踊れるよう、くり返し練習をしました。

当日は、美しいスカーフをはためかせ息の合ったダンスを披露することができました。

また、学校の元気印4年生は、競技だけでなく、とびきり元気な応援をグラウンド中に届けました。



5年生

初めて鼓笛隊の仲間入りをした5年生。運動会前から様々な練習や仕事に関わるが増えました。

休み時間や放課後に自主的にリコーダーのテストを受けに行く様子や、体育の授業でピロティーに響き渡るソーラン節のかけ声。運動会本番でも係の仕事でグラウンドをかけ回り、陰から運動会を支える5年生の姿をたくさん見ることができました。来年度は最上級生として、より輝かしい姿を見せてくれることでしょう。期待しています！！



6年生

最高学年の6年生は、障害走「それいけ！パンクイマン！」でユーモアたっぷりに会場を沸かせ、「綱引きバトル！勝つのは赤か！白か！」では5年生を力強くリードして白熱した勝負を繰り広げました。

最も観客を魅了したのはダンス「エイサー～未来へ届け海の声～」です。息の合った魂の演舞と響き渡る掛け声は、会場に大きな感動を呼びました。学校のリーダーとして、大いに輝いた1日となりました。

